

小松島市障がい者活躍推進計画に基づく取組の実施状況

1 計画作成機関

小松島市、小松島市教育委員会及び小松島市議会

2 評価年度 令和2年度

3 目標に対する達成度

| | |
|--------|--|
| (1) 採用 | 目標：在籍する障がいのある職員数が令和元年度実績を下回らない 指標：障がいのある職員数(各年6月1日時点) 評価方法：任免状況通報により把握・進捗管理 (参考)令和元年6月1日時点の障がいのある職員数 9人 結果：令和2年6月1日時点の障がいのある職員数 8.5人 |
| (2) 定着 | 目標：不本意な離職者を極力生じさせない。 結果：不本意な退職者は生じていない。 |

4 本市における障がい者雇用の状況(令和2年6月1日時点)

| 職員数 | 障がいのある職員数 | 実雇用率 | 法定雇用率 |
|--------|-----------|-------|-------|
| 545.5人 | 8.5人 | 1.56% | 2.5% |

5 障がい者の活躍推進に向けた取組内容の実施状況

(1) 庁内検討会議、相談機関の設置

①障がい者活躍推進検討委員会の設置

計画の検討・推進体制として、令和2年3月に「小松島市障がい者活躍推進検討委員会」を設置し、取組状況の把握・検証等を行っていく。

②障がい者雇用推進者の選任

障害者雇用推進者として人事課長を選任し、障がい者の雇用の促進及び継続を図るための施設・設備、雇用管理等諸条件の整備を図っていく。

③障害者職業生活相談員の選任

選任した障害者職業生活相談員の定期的な研修の受講に努める。

(2) 職務の選定

①職務の洗い出し

②職員面談の実施

自己申告制度や所属長による面談を通じて、希望する職務の確認、配置等に関して合理的配慮に努めた。

(3) 職場環境の整備

①施設の整備

②業務補助者の設置

現在、障がいのある職員からの要望等はないが、ヒアリング等を通じて様々な意見や要望等の把握に努める。

(4) 採用・育成

①募集案内時の取組み

②採用選考時の取組み

③キャリア形成のための研修等の実施

ホームページ上での募集案内の際には、ウェブアクセシビリティの確保に配慮した募集事務を行った。また、採用試験では会場をはじめ、障がい特性を勘案した体制を整え実施した。

また、県自治研修センター主催の障がい者雇用受入体制支援講座に職員が参加し、様々な障がいの特性や対応方法を習得した。